

寄り添う心

つなぐ未来

夢あるまち

まえた

2022▶2026

目次

1. ごあいさつ

2. 第1章 計画策定にあたって

- ① 計画の性格
- ② 計画の期間
- ③ 計画の策定経過

3. 第2章 前田北地区の現状と課題

- ① 地域社会の動向
- ② 地域の福祉活動

4. 第3章 計画体系

- ① 基本理念
- ② 基本目標
- ③ 実施項目(体系図)
- ④ 重点実施項目

5. 第4章 計画の推進

- ① 関係団体への承認と周知
- ② 小地域福祉活動計画推進委員会の設置
- ③ 第一次計画の評価と第二次計画の策定

ごあいさつ

私たちの住む前田北地区は、山坂も少なく商店や病院などの生活利便施設も多く、憩いの場である公園などの公共施設も整ったとても生活しやすい町です。

また、前田北地区社会福祉協議会は、今まで地域行事の参加や日頃からの見守り活動、サロン活動などを通じて地域福祉の推進に取り組んできました。

しかし近年、少子高齢化と人口減少が進む中、かつてのような地域での助け合いや支えあいなどの互助的な活動が低下していると言われています。一方、平成23年3月に発生した東日本大震災では、行政のみに頼るのではなく、地域で互いに支え合い助け合い、様々な地域課題に取り組んでいくことの大切さが再認識されています。このような背景から、地域の社会資源を有効に活用していくため、多くの福祉関係者や地域の住民とのネットワーク化を進め、情報を共有し、地域における福祉課題を地域全体で取り組んでいくことが、より重要となってきました。こうしたことから、このたびの第1次小地域福祉活動計画策定においては、誰もが安心して暮らせる支えあいのある前田北地区の実現を具体的に進めるため、中長期的な計画を踏まえ継続的に取り組みを行う必要があります。当会といたしましても、この計画の実現に向けて、区民の皆様や関係機関・他団体と協働し、取り組んでまいりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。最後になりましたが、この計画策定にあたり熱心にご審議いただきました本計画策定委員会の皆様、貴重なご意見・ご提言をお寄せいただきました区民の皆様に心からお礼を申し上げます。

令和4年3月

前田北地区社会福祉協議会
会 長 藤田武男

第1章 計画の策定にあたって

1 計画の性格について

① 住民発信の行動計画

この計画は、前田北地区の様々な福祉課題を解決するために、住民の立場で関係機関・団体等が将来の福祉未来像を描き、計画的に活動するための行動計画です。

② 小地域の生活を支える計画

この計画は、前田北地区に住む人たちの「安全・安心な生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

③ 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・八幡東区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・八幡東区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

④ 前田北地区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

令和4年度～令和9年度までの5ヶ年とします。

計画の期間中、地域を取り巻く状況に変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

前田北地区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等の意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、前田北地区の小地域福祉活動計画策定・推進委員会を設置しました。

第2章 前田北地区の現状と課題

1 地域社会の動向

【前田北地区のデータ】

人 口	8, 247人	施 設	名 称
世 帯 数	4, 293世帯	小学校	花尾小学校
高齢化率	23. 6%	中学校	花尾中学校
一人暮らし高齢者 (75歳以上)	334世帯	市民センター	前田市民センター
		地域包括支援センター	地域包括支援センター 八幡東1
前田北地区社協の構成地域	前田第一自治区会、前田第二自治区会、前田第五自治区会、 前田北地区民生委員・児童委員協議会、前田地区青少年育成会、 花尾小学校PTA、花尾中学校PTA、前田一地区年長者クラブ 連合会、第二桃園クラブ、老友会、八幡保護区保護司会、 前田市民センター		
その他の社会資源等	八幡東さくら保育所、西本町児童館、花尾小学校、花尾中学校（域 外）、八幡中央高校（域外）、九州国際大学（域外）、JICA九州（域 外）、花の王善興会、仲宿八幡宮、前田祇園山笠保存会		

2 地域の特徴

前田北地区は八幡東区の西側に位置し、山坂も少なく商店や病院などの生活利便施設も多く憩いの場である公園などの公共施設も整ったとても生活しやすい町です。

3 地域の福祉課題

前田北地区社会福祉協議会では、ふれあいネットワーク活動を展開し、見守り活動や助け合い活動を行ってきましたが、地域の連帯意識の希薄化等により、自治区会等の加入率が低下している。

また、近年、大型マンション等が建設され、新しい住民の転入により、近隣同士のつながりが薄化し、どのような人が住み、どのような支援を必要としているのかという情報が把握しづらい状況となっている。

このような状況を踏まえ、地域団体や関係機関などと連携強化し、安全・安心に暮らせる地域づくりを目指さねばなりません。

第3章 計画体系

1.基本理念『寄り添う心 つなぐ未来 夢あるまち まえだ』

前田北地区では、子どもから高齢者まで、笑顔で暮らせる地域づくりを目指していきたくないと願っております。そこで「寄り添う心 つなぐ未来 夢あるまち まえだ」を基本理念として計画を推進していきたくと考えています。

2.基本目標

①住民同士のつながりを強固なものにする

現在、全世界が目標に掲げているSDGsの観点から、助け合い、支え合いの意識を高めるため、地域会議等で交流事業などの企画や啓発をすすめ、住民同士のつながりを広める関係づくりに取り組みます。

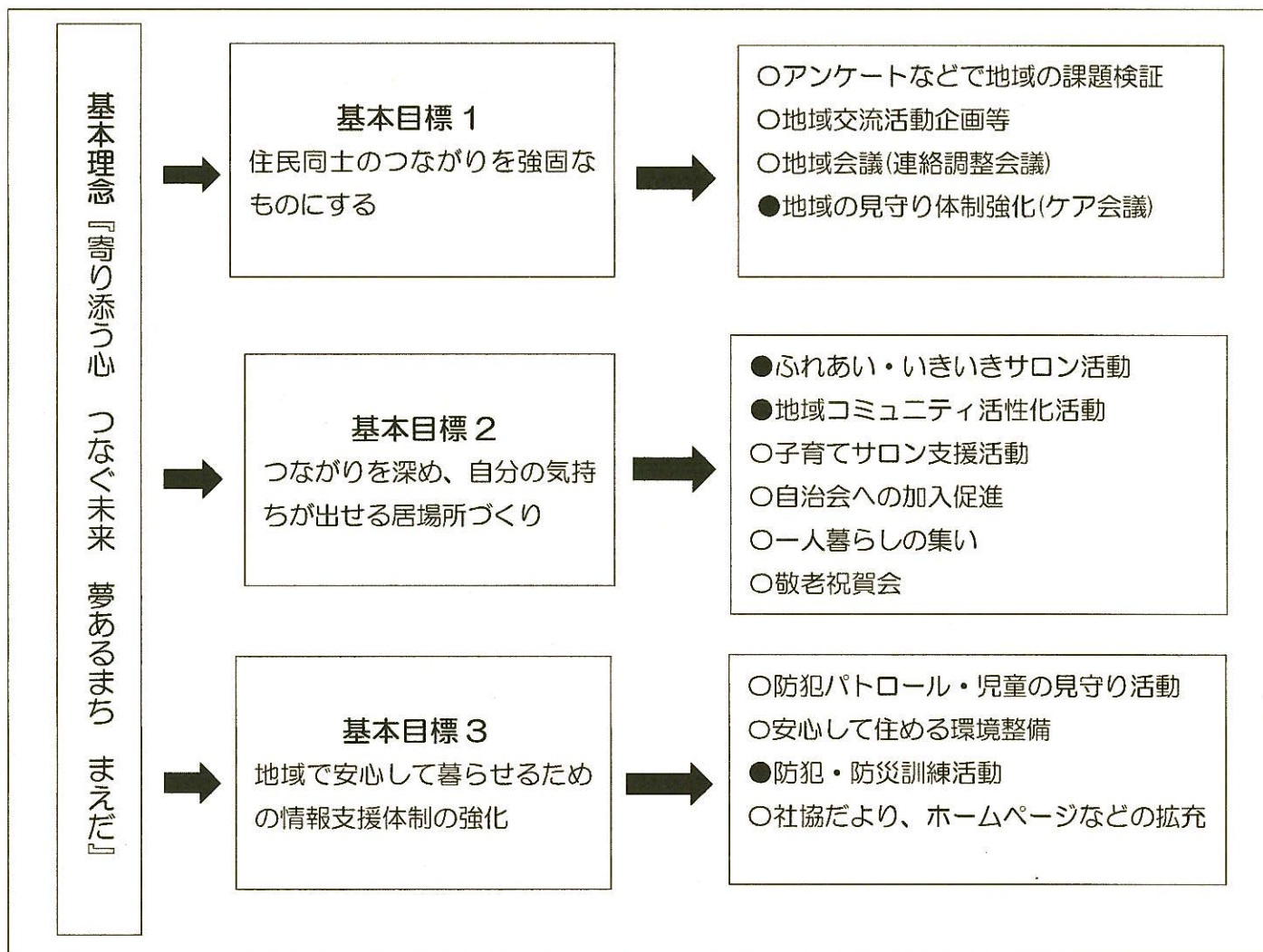
②つながりを深め、自分の気持ちが出せる居場所づくり

交流できる場所づくりや、地域で活動している団体、支援機関同士のネットワークの充実・強化を目指すことで、地域の課題を、地域の実情に合わせて解決するための環境づくりを目指します。

③地域で安心して暮らせるための情報支援体制の強化

前田北地区の住民が、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域団体・関係機関等からの情報や協力を得ながらの、防犯防災活動に取り組めます。

3.実施項目



4 重点実施項目

重点実施項目 1		地域の見守り体制強化(ケア会議)～支えあうマップ～						
課題背景及び現状								
近年、前田北地区では、マンション建設が多く、住民同士のつながりの希薄化が進む中、どこにどのような支援を必要としている住民がいるかわからない。								
活動方針・目標								
一人暮らしの高齢者等支援を必要とする人、福祉協力員や民生員、児童委員などの活動者や協力者、社会資源等を明らかにし、ふれあいネットワークの充実・強化を図るために、ひと目で見える『支えあいマップ』を作成する。								
段階的な取組みの年次計画								
取組み内容	連携する機関	R4	R5	R6	R7	R8	備考	
見守り活動内容の確認・見直し	自治会、民児協、老人クラブ、まち協	●	●	●	●	●		
見守り世帯の把握	自治会、民児協、老人クラブ、まち協	→						
研修の開催	市・区社協 市民センター	●	●	●	●	●		
「支えあいマップ」の作成、見直し	自治会、民児協、老人クラブ、まち協、区社協		●	→				
人材育成	自治会、民児協、老人クラブ、まち協、区社協	→						
広報の強化	市民センター、まち協	→						
いのちをつなぐネットワーク・地域支援コーディネーターとの連携	行政・区社協	→						

4 重点実施項目

重点実施項目 2		ふれあい・いきいきサロン活動						
課題背景及び現状								
<p>最近では、ご近所であいさつをする機会や玄関前での立ち話など、ご近所同士がコミュニケーションをとることが減ってきており、高齢者や子育て中の親同士が交流する場が少なくなってきました。</p>								
活動方針・目標								
<p>地域にお住まいの住民が気軽に集える場所をつくることを通じて、地域の「仲間づくり」「出会いの場づくり」「健康づくり」をするための活動です。サロンは、そんな地域の方たちが参加し、定期的集まることで顔なじみの輪を広げ、いきいきとした楽しい生活を送ることを目的としています。</p>								
段階的な取組みの年次計画								
取組み内容	連携する機関	R4	R5	R6	R7	R8	備考	
参加者人数増についての取組み	サロン活動委員会、自治会、まち協、老人クラブ	●	●	●	●	●		
サロン交流会の実施（年2回）	サロン活動委員会 市民センター	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●		
サロン活動に携わる人材の発掘、確保	サロン活動委員会、自治会、まち協、老人クラブ、区社協	→						
他校区のサロン活動の見学等	サロン活動委員会	●	●	●	●	●		
広報の強化	サロン活動委員会、自治会、まち協、老人クラブ、区社協、市民センター	→						
手法、マニュアルの見直し	サロン活動委員会、自治会、まち協、老人クラブ、区社協	→						

4 重点実施項目

重点実施項目 3 地域コミュニティ活性化活動								
課題背景及び現状								
<p>近年、人口減少、少子高齢化、生活スタイルや価値観の変化、情報化の進展など、社会の状況が大きく変わってきております。</p> <p>住民一人ひとりが夢を持てるまちにしていくためには、“地域コミュニティ”の力がとても大切です。近隣の方や近くで働いている方、地域でボランティア活動など様々な団体に活躍をしている方などによる集まりやつながりが重要だと考えています。現在、問題なく活動できている地域でも、5年、10年後には地域活動が維持できなくなっているかもしれません。災害時に助け合える関係づくりも重要です。未来を見据え、今のうちに地域のつながりを強め、地域が一丸となって対応できるようにしておく必要性を感じます。</p>								
活動方針・目標								
<p>SDGsを中心に地元の小学校・中学校・高等学校・大学・PTA・JICA九州・企業など地域組織との連携強化や地域自治組織の活性化に向けた新たなしくみづくりにより、地域力の強化、将来の担い手確保を促進し、地域コミュニティの活性化を更に推し進めていく。</p>								
段階的な取組みの年次計画								
取組み内容	連携する機関	R4	R5	R6	R7	R8	備考	
企画会議	自治会、まち協、老人クラブ、区社協、小中学校PTA	●	●	●	●	●		
環境美化活動	自治会、まち協、老人クラブ	➡						
地元の文化・歴史の学び	自治会、まち協、老人クラブ、小中学校、地域有識者		➡					
文化祭での連携	自治会、まち協、老人クラブ、小中学校、JICA、市民センター	●	●	●	●	●		
ふれあい餅つき大会	自治会、まち協、老人クラブ、大学、小中学校、保育園、JICA、市民センター	●	●	●	●	●	多世代交流事業	

4 重点実施項目

重点実施項目 4	防犯・防災訓練活動
-----------------	------------------

課題背景及び現状

近年、いわゆるゲリラ豪雨と呼ばれる、局地的な短時間の集中豪雨による、災害が頻発しており、今後は、南海トラフ地震の発生も懸念されている。また、阪神・淡路大震災や東日本大震災など、大規模な災害が発生した場合には、行政機関による災害対応（公助）には限界があり、全ての現場に救助隊が速やかに到着することが難しいため、災害発生直後の避難・救助活動などにおいて、地域住民等が互いに協力し、助け合う、「共助」の重要性が指摘されている。

活動方針・目標

防災体制の強化については、住民によるコミュニティにおける自主防災活動を促進し、地域ぐるみの防災体制を確立することも重要です。

地域住民一人ひとりが「自分たちの地域は自分たちで守る」という固い信念と連帯意識のもと組織的に出火の防止、初期消火、情報の収集・伝達、避難誘導、被害者の救出・救護、応急手当、給食、給水等の自主的な防災活動を行うことが必要である。一方では、防犯活動意識のもと、地域ぐるみで犯罪の起きにくい環境づくりに取り組む活動もしています。

段階的な取組みの年次計画

取組み内容	連携する機関	R4	R5	R6	R7	R8	備考
講座・研修の企画、開催	市民センター、区社協、消防署、まち協、自治会、老人クラブ	➔					
防災合同訓練の実施	まち協、消防署・団、自治会、老人クラブ、市民センター	●	●	●	●	●	
避難所運営訓練の実施		●	●	●	●	●	
防犯パトロールの実施	自治会、消防署、消防団	➔					
見守り活動の強化 (支えあいマップ)	自治会、民児協、老人クラブ、まち協、区社協		●	➔			

第4章 計画の推進

1. 関係団体への承認と周知

地区社会福祉協議会関係団体への計画の承認と周知を行い、協力依頼する。

2. 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画推進のため、前田北地福祉活動計画の策定・推進委員会を設置し、計画の進行管理を行う。

3. 第一次計画の評価と第二次計画の策定

第一次計画の総括評価をし、その結果を踏まえ、第二次計画の策定をする。

第一次前田北地区社協小地域福祉活動計画策定・推進委員会名簿

氏名	所属団体	役職
藤田 武男	前田北地区社会福祉協議会 前田まちづくり協議会 前田第五自治区会	会長
野依 紀	前田第一自治区会	会長
牟田 宏	前田第二自治区会	会長
和才 健治	前田北地区民生委員・児童委員協議会	会長
畠山 栄治	前田一地区年長者クラブ連合会	会長
御手洗 徹	花尾中学校 PTA	会長
内田 満	花尾小学校 PTA	会長
松島 善成	前田まちづくり協議会	副会長
森本 奈生子	八幡東区役所保健福祉課	いのちをつなぐネットワーク担当係長
柴田 由佳	八幡東区役所保健福祉課	地域包括支援センター担当係長
二保 佳代	八幡東区社会福祉協議会	地域支援コーディネーター
栃原 新吾	八幡東消防署予防課	予防係長
河内 徹也	前田北地区社会福祉協議会	事務局長
高橋 貴子	前田北地区社会福祉協議会	会計

計画策定委員会での協議日程	1回目	2回目	3回目
	令和3年10月7日	令和3年12月9日	令和4年2月4日